

「木のヨーロッパ」旅シリーズ No.1

太田 邦夫先生と行く

魅惑の木造建築を 訪ねる旅

特選カルパチア 13日間

ハンガリー

ルーマニア

ウクライナ

スロヴァキア

ポーランド

ヨーロッパの洗練された気品と
素朴な温もりが漂う
木造建築に出逢う

お申込み締切
2013年4月末

■ご旅行代金(大人お一人様/2名1室利用) ■出発日 2013年

548,000円 9月6日(金)~18日(木)

予告版

※左記旅行代金には成田空港旅客サービス施設使用料・現地空港税・燃油サーチャージは含まれておりません。

ヨーロッパの洗練された文化を今に伝える

珠玉の木造建築の数々

ヨーロッパの伝統的な木造建築は、そのながい民族と風土の歴史、そしてそこで育まれた文化の精髓を雄弁に物語る。なかでも木造教会はその花形的な存在。

その傑作ばかりがいまも結集して遺るヨーロッパの秘境カルパチアに、そのすべてを訪ねる旅ほど待ち焦がれたものはない。半世紀以上行き来が不自由だった地域だけに、20棟に及ぶ世界遺産級の教会を訪ねる旅は、13日間に7度も国境を超えるこの大胆な試みで、はじめてその実現が可能になった。

旅は、ドナウの流域文化を遡る形でブダペストを経由、ドナウの支流ティサ川上流域にある、ルーマニア民族建築の宝庫、マラムレッシュ地方をまず訪れる。ここの木造教会は世界遺産が六つ。

その北に隣接するウクライナのザ・カルッパチャ地方もティサ川の源流域だ。まだ世界に広く知られてこそいないが、ここの木造教会群はいずれも世界遺産に匹敵する傑作ぞろい。誰もが初見の風景も新しい発見に満ちている。

そこから一気にスロヴァキアの北東部に入れば、そこからタトラ山脈に至るなだらかな山あい、五つの木造教会と二つの街の世界遺産が待ちうけているはずだ。

村々の鄙びた教会にも目を配りながら、旅はそこからベスキディ山脈を越えてポーランドの南東部へ。ここは、昔のアジアとヨーロッパとを結んだ交易路に、キリスト教の諸宗派が、数十と木造教会の華を競ったことで有名な場所。そのうちの秀作四つに立ち寄りながら古都クラクフに着けば、一日で五つの世界遺産を見られる。

ここからタトラの山並みを越え、再び世界遺産の教会や集落などを訪ねながらブラチスラヴァに戻るといった、これほど建築好きにとって目に贅沢、街歩き好きにも興味津々の旅は、これまでの日本発にないだろう。

発売(2013年夏)されたばかりの「木のヨーロッパ」(彰国社)を手に、みなさんどうか奮ってご参加ください。

東洋大学・ものづくり大学名誉教授 太田邦夫

日程	国	スケジュール	朝食	昼食	夕食
1	日本	午前/成田発。空路、オーストリア航空又はフィンランド航空(経由便)にてウィーンへ。 夕刻/着後、ジェルへ。夕食後、ブダペストへ。着後、ホテルへ。 [ブダペスト泊]		機内	レストラン
2	ハンガリー	午前/世界遺産 ブダペスト市内観光 →ハートヴァン→世界遺産 ホッローコエ →エゲル→トカイ→ デブレツェンへ。ホテルへ。 [デブレツェン泊]			
3		午前/デブレツェン→ニーレジュハーザ→ サトゥ・マーレ→バイア・マーレ。ホテルへ。 [バイア・マーレ泊]			
4	ルーマニア	午前/バイア・マーレ→世界遺産 シュルデシュティ → 世界遺産 デセシュティ → シゲトゥ・マルマツィエイ→世界遺産 ビルサナ → 世界遺産 イエウッド → バイア・マーレ。ホテルへ。 [バイア・マーレ泊]			
5	ウクライナ	午前/バイア・マーレ→ フスト→ソクルニツァ→クライニコヴォ→ダニロヴォ→ラヒヴ→ヤシニア→ ブコヴェル。ホテルへ。 [ブコヴェル泊]			
6		午前/ブコヴェル→コロチャヴァ→ピリベツィ→フクリヴィイ→ヴォロネツ→ ムカチェヴォ。ホテルへ。 [ムカチェヴォ泊]			
7	スロヴァキア	午前/ムカチェヴォ→ウージュホロド→ ミハロフツェ→プレショフ→世界遺産 ヘルヴァルトフ →ルコフ・ヴェネツィア→ 世界遺産 バルデヨフ 。ホテルへ。 [バルデヨフ泊]	ホテル	レストラン	ホテル
8		午前/バルデヨフ→スヴィドニーク→世界遺産 ラミロヴァー → 世界遺産 ポドルジャール → クロスノ。ホテルへ。 [クロスノ泊]			
9	ポーランド	午前/クロスノ→世界遺産 プリズネ → 世界遺産 ハチェフ →クロスノ→世界遺産 ピナロヴァー → 世界遺産 センコヴァ →ゴルリツェ→ノヴィ・ゾンチ→ 世界遺産 クラクフ市内観光 。ホテルへ。 [クラクフ泊]			
10		午前/クラクフ→世界遺産 デンブノ →ザコバネ→ホホワグ→ザコバネ→ ジュディアル→世界遺産 ケジュマロク →タトランスカー・ロムニツァ。 ホテルへ。 [タトランスカー・ロムニツァ泊]			
11	スロヴァキア	午前/タトランスカー・ロムニツァ→スタリー・スモコヴェッツ→ルジョムペロク→世界遺産 ブルコリネツ → バンスカー・ビストリツァ→世界遺産 フロンセク →ズヴォレン→ニトラ→ ブラチスラヴァ。ホテルへ。 [ブラチスラヴァ泊]			
12		午前/ブラチスラヴァ→ウィーンへ。 午後/ウィーンより空路にて帰国の途へ。(経由便になる場合があります) [機中泊]			機内
13	日本	早朝/成田着。通関後、解散。	機内		

主な見どころ ご紹介



↑ ザコパネ

ポーランド随一の行楽地。博物館ヴィラ・コリヴァや近くにある井楼組の街村ホホワヴを訪れると、ここに興った「ザコパネ様式」がよくわかる。



↑ ニーレジューハーザ

かつてハンガリーの支配下にあったトランシルヴァニアへの玄関口。この民家園を見れば、この周辺の伝統的な木造建築がよくわかる。

← ケジュマロクの教会

ドイツ色の強い街並みにひと際目立つルーテル派の十字教会。1500人収容の偉容を誇り、北欧の建築や造船術の影響を受けたことで知られる。

↓ フロンセクの教会

カトリック側から鉄釘を使わずに1年以内で建てることを条件に建設が許されたルーテル派教会(1726年)。木造軸組構法が用いられている。



●ご旅行期間

平成25年

9月6日(金)~18日(木) 11泊13日

●ご旅行代金 大人お一人様

548,000円

※ツイン利用時の大人お一人様の代金

※1名利用(追加料金):84,000円

●募集人員:40名様

●最少催行人員:30名様、

●利用航空会社:ウイーン航空又はフィンランド航空(ヨーロッパ経由便)

●添乗員:成田空港から全行程同行しお供致します。

■申込締切/4月下旬

【詳しいパンフレットをご用意しております】

(株)セブンカルチャーネットワーク TEL:03-6238-3085 FAX:03-6238-6997

受付時間:平日9:30~17:30(土・日・祝日は休業) 担当:野田・武田

「木のヨーロッパ」
旅シリーズ
No.2

ドイツ東部とポーランド西部・チェコの ボヘミア 10日間の旅

2014年9月実施(予定)

蛇行しながらドイツを流れるメイン川を東へと遡り、ザクセン地方からエルツ山地を迂回して、チェコのボヘミア地方北部に至るまで、地方色豊かな木造の街並みを巡り続けることができる斬新なコース。ワインで名高いフランケン地方の幅広で明るい木造の軸組みは、濃厚なビールで知られるバンベルクから律儀に細かい破風の造りになる。その軸組の階下に井楼組が加われば、シレジア風のアーケードが続く剛直な街並みが生まれるし、その街並みがチェコに及ぶと木造のアーケードが石造になり、ビールは澄んで軽くなる。途中でチューリッゲンの街にも寄るが、これらの地方すべてがかつてカトリックとプロテスタントとの境をなした地域であることから、宗派の違いが街並みや酒の造り方の差になることまで実感できる、素敵で楽しい旅になるに違いない。



ミルテンブルクの広場(ドイツ)



シュフィドニツアの教会(ポーランド)



「木のヨーロッパ」
旅シリーズ
No.3

ブルガリア一周 12日間の旅

2015年9月実施(予定)

ブルガリアが生んだ木造街並みの精髓をくまなく巡ることで、その多様な風土と民族文化の深い歴史をじかに体験できる極上の旅。この旅は、19世紀半ばに起きた独立運動と民族復興様式の流れを追うようにしてソフィアから北へ進み、古都ヴェリコ・タルノヴォ周辺と、その東にあたる黒海沿岸の街並みを楽しんでから、復興様式の建築群として最も密度の濃いプロヴディアに西進、今度南転してロドピ山系にあるギリシャ色の強い木造塗壁と石積壁とが折衷した街並みを訪れ、そこからキリル文字発祥の地とされる高名なリラの修道院を経てソフィアに戻る。ヨーロッパの一部にありながら、すぐ東に接するアジアからの風を感じざるを得ない、素敵な内容の旅が期待できるであろう。



ネセバルの街並み



ジェラブナの街並み



《旅行企画・実施》

株式会社セブンカルチャーネットワーク

セブンカルチャーネットワークはセブン&アイ・ホールディングスグループの旅行会社です。

〒102-8452 東京都千代田区二番町8-8

総合旅行業務取扱管理者 倉西 芳次

観光庁長官登録旅行業第1870号 JATA正会員

旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に関し、担当者からの説明にご不明な点がありましたら、ご遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者にご質問ください。

《お申し込み・お問い合わせ》

株式会社セブンカルチャーネットワーク ツアーサービス部

担当：野田・武田

TEL: 03-6238-3085

FAX: 03-6238-6997

受付時間 平日9:30~12:30/13:30~17:30

(土曜日・日曜日、1月29日・2月12日・4月9日は休業/祝日は営業)

